

## 市政運営のテーマ「選ばれるまち、住みたいまち」の考え方

### 市政運営のテーマとは・・・

市政運営のテーマを設定することにより、3つの共通課題（「人口減少の進行」「世帯構成の変化」「歳入・歳出の不均衡」）を背景とした中での市政運営における政策・施策の目的を明確にする。

政策・施策が「誰」にとっての「選ばれるまち」「住みたいまち」となるかを明らかにすることにより、施策の重点化を図り、一層の「まちの総合力向上」と「持続可能な市政運営」を推進する。

### 「誰」にとっての「選ばれるまち」「住みたいまち」か・・・

時間軸の観点では

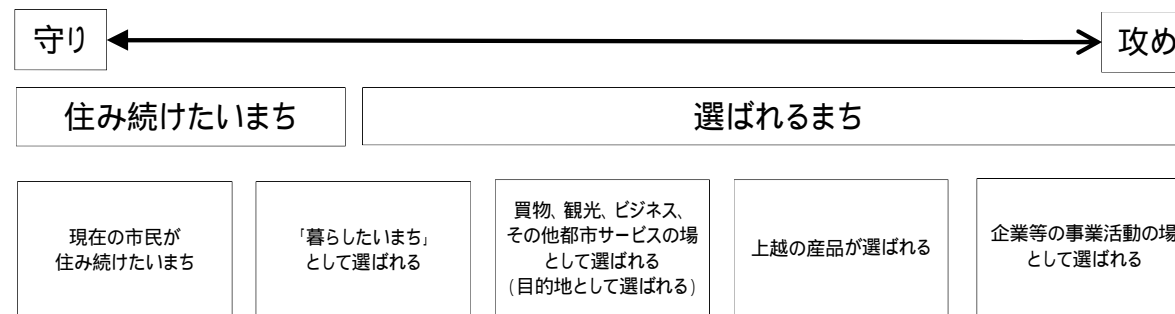
現在（現在の市民） 過去（以前住んでいた人） 未来（これから生まれてくる子どもたち、将来上越市に住むことになる人）を念頭に置く。

空間軸の観点では

市内（現在の市民） 市外（北信越地域 日本全国 世界）の双方からの視点を持つ。

多様な地域資源を有する上越市では、まちの総合力向上の観点から、個人、企業、団体など多様な主体から「選ばれる」まちを目指す。

### 市政運営のテーマに基づく政策展開の考え方



## 「現在の市民」にとって「住み続けたいまち」の実現

- ・すこやかなまちを実現するためには、現在の市民にとっての「住み続けたいまち」であることは最重要事項。
- ・特に、人口減少社会の中で上越市が都市として持続していくためには、まずは、現在の市民が「すこやかな暮らし」を送ることができるまちを目指し、市民にとっての「住み続けたいまち」としての実感を高めることが必要。

## 「未来の市民」にとって「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現

- ・上越市は豊かな歴史・文化・自然や、広域交通の要衝としての地勢、充実した広域交通ネットワークなどを有する総合力を有するまちではあるが、日本全国が人口減少社会に入らる中では、まちづくりや市政運営において、他自治体との差別化を図り、上越市の優位性を高め、より多くの人々から「選ばれるまち」となり、「住み続けたいまち」となるような市政運営を推進することが必要。
- ・特に、人と地域が輝くためにも、このまちでの暮らしの魅力をより多くの人に向けて発信し、同時に市民一人ひとりが、このまちの良さを実感し、満足感や誇りを感じ、それが市外の人々へ伝わるようにしていくことが必要。

## まちの求心力向上に向けた、様々な主体から「選ばれるまち」の実現

- ・地域が活力にあふれ、上越市が上越地域の中心してだけでなく、広域的な求心力を有するまちであるためには、企業や団体から事業活動を営むまちとして選ばれ、全国・世界の人たちからは、魅力的な旅先として選ばれ、さらには、上越の産品が全国・世界の人たちから選ばれることが必要であり、そのためには、まちの様々な魅力を磨き、発信していく努力が不可欠。
- ・また、当計画の推進に当たっては、様々な厳しい環境の中にある上越市において、上越市のまちづくりの担い手それぞれが、自らの手で主体的にまちの未来を切り開いていくための「主体性」が何より大切であり、行政、市民、経済団体などによる「選ばれる」ための一層の努力の必要性を訴えることが必要。
- ・上越市が自認する豊かな歴史・自然・文化や、社会インフラ、活発な市民活動といったまちの総合力は、大きなポテンシャルを有するものの、一方では、北陸新幹線開業により、暮らしやすさや観光面においてブランド力が高い北信越地域の他自治体との間での競争が、今後一層激しさを増すこととなる。そのため、新幹線開業という、このエリアへの全国的な注目が高まる「きっかけ」を最大限活用し、まちの魅力を磨き、発信する努力を継続していくことが必要。